

シグマ研究委員会FP核データワーキンググループ、サブグループ会合議事録

日時：昭和52年4月14日、15日 [14日：13：30-17：30, 15日：9：30-17：30]

場所：原研東海 原子核データ室

出席者：五十嵐, 松本, 菊池, 中川 (以上原研), 中嶋 (法政大), 佐々木 (MAPI),
吉田, 飯島 (NAIG), 松延 (住友原子力), 渡部 (川重)

議事：

- (1) 前回までの作業結果の確認
- (2) レベルスキームについては100核種を終了した。現在, RCN-2と比較中。(松本, 中嶋)
- (3) Strength function model のパラメタ決定の計算は進行中。今回は, 収束判定をゆるめ (~3%), 又, (i) S_0 丈変化, (ii) D_0 丈変化, (iii) S_0 と D_0 を同時変化の3通りを行なう。(佐々木, 吉田, 菊池)
- (4) 今秋の Petten での FPND 会議に提出予定の review paper RP9 について, 構想の説明と作業依頼を行なった。(飯島)

特に, 評価ライブラリーデータ間の比較として, 次の項目を中川氏が分担することとなった。

- (i) $\sigma(n, r)$ の fission spectrum average
 - (ii) $\sigma(n, r)$ の resonance integral
 - (iii) σ_{inel} の比較 : (a) Bethe 達の方法 (b) $\overline{\xi\sigma_{in}}$ (c) 大型炉スペクトルでの平均。
- (5) 各自分担作業の実施。

以上

日 時 : 昭和52年 4月27日 13:30-17:30

場 所 : 原研東海 原子核データ室

出席者 : 五十嵐(原研), 青木(富士), 真木(日立), 飯島(NAIG)

議事, 作業 :

- (1) $\sigma(n, r)$ 測定値のある核のうち, 未だ CASTHY の規格化計算が終了していないものがあった。今回はこれらについて計算を全部終了した。
- (2) 光学ポテンシャルの効果を調べるために, Rh, I, Cs, La, ^{151}Sm について, ポテンシャルパラメタ・セットを変えて $\sigma(n, r)$ の計算を行なう用意をした。計算機不調のため計算実施には至らなかった。

以 上

日 時 : 昭和52年 4月28日 10:00-16:00

場 所 : 原研本部 第21会議室

出席者 : 佐々木(MAPI), 吉田(NAIG), 菊池(原研), 飯島(NAIG)

議 事 :

- (1) Strength function model でのパラメタ・フィットの進行状況の説明があった。(佐々木, 吉田)
核種は, $^{85}, ^{87}\text{Rb}$, ^{89}Y , $^{90}, ^{91}, ^{92}, ^{94}\text{Zr}$, ^{93}Nb , ^{107}Ag , ^{108}Pd , ^{127}I , $^{128}, ^{130}\text{Te}$, ^{139}La , ^{141}Pr , ^{146}Nd , $^{150}, ^{152}\text{Sm}$, ^{151}Eu , $^{156}, ^{157}\text{Gd}$ の21核種である。
- (2) 上記の他に (n, r) データのある核種として
 ^{81}Br , ^{84}Kr , ^{96}Zr , ^{110}Pd , ^{138}Ba , $^{140}, ^{142}\text{Ce}$, $^{148}, ^{150}\text{Nd}$, $^{148}, ^{154}\text{Sm}$, ^{155}Gd の12核種については CASTHY の規格化計算の結果待ちである。
- (3) 上記(1)の21核種計算について入力ミスチックが若干あり, 菊池氏が ASREP コ

ードを佐々木氏に送付し、佐々木氏が連休中に計算し直すこととなった。又、連休明けに再び会合し、 S_0 、 S_1 、 D_s を決めることとなった。

以 上

日 時 : 昭和52年5月6日 13:30-18:00

場 所 : 三菱原子力大手町ビル会議室

出席者 : 佐々木(MAPI), 吉田, 飯島(NAIG)

議 事 :

4月28日の会合に引きついで、佐々木氏の計算結果に基づいて、21核種のうち数核種を残して S_0 、 S_1 、 $D_{0.0}$ を定めた。この結果を菊池氏へ送付し、データファイル作成に掛ってもらうこととした。

以 上